

令和2年度 第3回 経営協議会 議事要録

日 時 令和2年10月1日(木) 10:00～11:35

場 所 ※ ビデオ会議システムにより開催

(構 成 員) 益議長, 石田委員, 井戸委員, 和泉委員, 井戸委員, 河村委員, 久間委員, 高橋委員,
佐藤委員, 水本委員, 渡辺委員, 藤野委員, 川端委員, 小山委員

(構成員以外) 小倉監事, 三矢監事, 榎並学長相談役, 三原副学長, 岩附副学長, 井村副学長,
高田副学長, 桑田副学長, 屋井副学長, 伊東副学長, 岡田副学長, 関係部課長・事務長

○ 議事に先立ち, 学長から, 参考資料1に基づき, 9月1日付けで就任した監事及び学長相談役
について紹介があった後, 監事及び学長相談役から挨拶があった。

次いで, 10月1日付けで就任した副学長の紹介があった後, 副学長から挨拶があった。

○ 令和2年度第2回経営協議会議事要録(案)の承認

○ 審議事項

1. 国立大学法人東京工業大学職員就業規則等の一部改正について

佐藤理事・副学長から, 資料1-1から資料1-3に基づき, 退職手当一括支給型年俸制の
導入, 次世代型人事制度の新設, 管理職手当の支給区分の改正, 在宅勤務制度及び大学都合休
業制度の導入に伴い, 本規則等において所要の改正を行うことについて説明があり, 審議の結
果, これを了承した。

【主な意見等】

- ・ 新年俸制の導入については, 総人件費として変わらないのか。
→ 総人件費を抑制するための仕組みではないので, 総人件費は少なくとも当面は変わら
ないと想定している。
- ・ アメリカのように研究のエフォートを一部競争的資金から自分の給料に反映し, 総額も増
やすような仕組みは検討しているのか。
→ 現在, 国で外部資金によりエフォートを割いて, 人件費に積み増すことができる仕組
みを考えているため, 本学でもその制度に適応する準備を進めている。

2. 退任した役員の退職手当について

学長から, 資料2に基づき, 令和2年8月31日付けで退任した役員の退職手当支給に係る増
減額について説明があり, 審議の結果, これを了承した。

○ 報告事項

1. 令和元年度収容定員の充足状況による国庫納付額について

藤野理事・副学長から, 資料3に基づき, 令和元年度収容定員の充足状況による国庫納付額
について報告があった。

○ 意見交換事項

1. 第4期中期目標・中期計画策定にあたるステークホルダーへの意見聴取について

藤野理事・副学長から、資料4-1及び資料4-2に基づき、第4期中期目標期間（2022～2027年度）における中期目標・中期計画の策定に向けて検討を開始し、社会連携を推進する本学としてステークホルダーの意見を聴いて立案するものとしているため、本協議会構成員からご意見をいただきたい旨説明があった後、意見交換が行われた。

【主な意見等】

- ・東工大が新たな理工系のミッションを考えつつ、幅広い分野にも外部資金を使っていこうという一つのシステムを作り上げられれば、本当に望むべき姿だと思う。
- ・例えばMITではアートや人文系のものをうまく取り込みながら理工学系の豊かな人材をどう育成していくかということが問われている。理工分野ではSTEMからSTEAMに変わっている部分も受け止め、より豊かな人材養成のイメージができるのではないかと。
→ STEMからSTEAMの先に東工大がどうあるべきかということをぜひ考えて行きたいという気持ちを持っている。
- ・これまで大学改革を独自に実行してきたという経緯を踏まえ、大学の目指す方向性や今後のミッションなどを中期計画に当てはめるような観点で見ることも必要ではないか。

○ その他

1. 次回開催について

学長から、今回は、令和2年11月26日（木）15：00から、事務局1号館2階会議室で開催する旨の案内があった。

以 上

資 料

- 1-1. 国立大学法人東京工業大学職員就業規則等の一部改正について
- 1-2. 新年俸制（退職手当一括支給型年俸制（仮称））の導入について
- 1-3. 次世代型人事制度図（案）
2. 令和2年8月31日付退任した役員の退職手当について
3. 令和元年度収容定員の充足状況による国庫納付額について
- 4-1. 第4期中期目標・中期計画骨子メモ
- 4-2. 第4期中期目標・中期計画の検討に関する参考資料

参考資料

1. 国立大学法人東京工業大学役員等一覧（2020.10.1）